

令和4年2月1日（火）

社会福祉法人正仁会
なごみの郷 関係各位

社会福祉法人正仁会
業務執行理事 松林克典

新型コロナウイルス感染症の動向について（第二報；亀山拠点発生）

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度のコロナウイルス感染者発生について、関係各位におかれましては多大なるご迷惑とご心配をお掛けしております。

さて、過日（1月24日）、当法人のショートステイご利用者一名の新型コロナウイルス PCR 検査陽性が判明し、新規のショートステイ受入れと落合拠点のデイサービスの閉鎖をご案内いたしました。

この間、検査陽性のご利用者も含め、熱発等の感染を疑わせる体調不良のご利用者は発生しておりません。非常勤職員一名が同居の家族からと思われる感染を起こして休職していますが、勤務実績がないため保健所からは一連のものとは無関係とされています。したがって、落合拠点では1月31日(月)よりデイサービスを再開いたしました。正式には2月7日(月)をもって、感染終息を判断いたします。

一方、当法人の安佐北区亀山にある**グループホームなごみの郷 亀山**に勤務する介護職員が1月30日(日)から頭痛の症状があり、翌31日にPCR検査を実施し、本日（2月1日）新型コロナウイルス陽性であることが判明いたしました。

当該職員は、この間に1月29日(土)のみグループホーム3階フロアにて勤務していたため、保健所と濃厚接触者の同定を行っています。現在のところ、ご利用者、職員共に体調不良を訴える者はいません。

当該事業所では、2階ご利用者と3階ご利用者の交流はもちろん、職員の往来も遮断して様子を観察いたします。

亀山拠点のデイサービスと保育事業については、このまま営業いたします。

再び関係各位には、たいへんご心配をおかけいたしますこと、お詫び申し上げます。